

# 平成26年度 共に子どもを育む学校評価

学校の教育目標 「自ら学び、豊かな心とたくましく生きる力を持つ生徒の育成」

校訓 自 学 自ら学び、自己を磨く  
 敬 愛 自ら考え、礼儀正しく、人を愛し、自然を愛する  
 創 造 自ら判断し、よりよいものを創りあげる

## 宮崎市立加納中学校

【自己評価書】 4段階評価 5 期待以上 4 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1改善を要する

【学校関係者評価書】 No.1

評価項目	評価指標	具体的数値目標	方策・手立て	自己評定		結果の考察・分析及び改善策
				指標別	総合	
夢実現に向けた確かな学力の定着	生徒指導の三機能を生かした授業、個に応じた指導に努める。	○ 生徒による学校生活に関するアンケートにおいて、毎日の授業は「わかる」「楽しい」が80%以上である。	○ 教材等の工夫 ○ プリント自習の削減 ○ 研究授業の実施 ○ 少人数指導の充実	3.8	3.6	○ 「毎日の授業はわかりやすく、楽しい」について「そう思う」「ややそう思う」と答えた生徒が、この4年67%⇒78%⇒82%⇒82%と増加していたが、本年度は、79%と減少し、目標を下回った。「意欲的取り組めるように授業を工夫している」については、「そう思う」「ややそう思う」と答えている生徒が80%いる。分かりやすい授業となるように90%以上の生徒が「わかる」「楽しい」と思うように授業の工夫改善に努めたい。 ○ 『2分前着席』『1分前黙想』など学習ルールが守られている」については、「そう思う」「ややそう思う」と答えた生徒が78%で目標を下回った。全校学習委員会の活動で生徒が自ら取り組み、生徒の意識向上を図るとともに、教師が始業前行動を心がけ、生徒とともに定着を高めていきたい。 ○ キャリア教育の視点から1年生は高校見学、職業人を招いての講話や体験学習を行った。2年生は、職場体験学習、3年生は、オープンキャンパスへの参加や私立高校、県立高校説明会を行った。具体的な情報にふれることで生徒が進路設計をしっかりとしていくのに効果的であった。 ○ 諸テストの結果を分析し、教育相談や日常的な個別指導に役立てている。さらにテスト前の学習の仕方などに活用していきたい。
	授業における学習規律の周知徹底を図る。	○ 生徒による学校生活に関するアンケートにおいて、「2分前着席」「1分前黙想」など学習ルールが守られているが85%以上である。	○ 準備、2分前着席の徹底 ○ 1分前黙想の徹底 ○ 姿勢、挙手、返事の指導 ○ 発表の推進 ○ 傾聴の徹底	3.7		
	キャリア教育の視点から3か年を見通した進路指導の充実に努める。	○ 1年生で5時間、2年生で8時間、3年生で7時間の体系的な進路学習に取り組む。	○ 進路指導全体計画見直し ○ 進路年間指導計画見直し ○ 職場体験学習の工夫・改善	3.7		
	諸検査の結果分析を行い、有効活用を努める。	○ 学力検査、意識調査の結果を分析し、個別指導や相談に生かす。	○ 学習相談の充実 ○ 個別指導の充実	3.6		

評定	学校関係者評価コメント
4.1	○環境がさまざまに激変する中での指導・苦労は、計り知れないものがあると思う。加納中の生徒は、健やかに成長していると思う。 ○地域活動の一環として、2年生の家庭科授業に参加させてもらった。2分前着席、1分間黙想などルールが守られていた。全員それぞれの手芸に黙々と頑張っていた。 ○「毎日の授業はわかりやすく、楽しい」について今年度目標を下回ったのは残念であるが、79%とかなり高い数値であると思う。 ○キャリア教育の視点から1年生で高校見学、職業人を招いての講話など先を見越した教育がなされていると思った。 ○授業参観でも先生が教材を手作りで作成して準備されていてとてもわかりやすかった。 ○昨年度に比べて減少したにしても80%近くの生徒がわかりやすく楽しいと答えているのは、高いと思う。加納中の生徒は幸せである。不登校等で小学校低学年程度の学力しかない生徒が実際にいる。大人になって生活を少しでも変えたいと思ってもとてもやる気を起こせないほどの能力である。決して知的障害があるわけではない。中学生までに最低限の学習をしているだけでも違うと思う。先生方も子どもたちも保護者の方も頑張してほしい。 ○県下でも優秀な学力があると聞いている。日々の取組の成果だと思う。 1年生の高校見学、2年生の職場体験学習が成果のあげているのだろう。

評価項目	評価指標	具体的数値目標	方策・手立て	自己評定		結果の考察・分析及び改善策
				指標別	総合	
生徒の自主的・自発的な活動の推進	生徒が存在感や達成感を実感できる、学級及び学年づくりに努める。	○ 生徒による学校生活に関するアンケートにおいて、「学校は生徒一人一人のよさや可能性を伸ばすことに努力している」が85%以上である。	○ 生徒一人一人が活躍できる場や機会の工夫 ○ 教師の意図的な仕掛け			<p>○「学校は生徒一人一人のよさや可能性を伸ばすことに努力している」については、「そう思う」「ややそう思う」と答えた生徒が84%で、昨年度に比べて6%減少し、目標も下回った。学級や学年で生徒一人一人が活躍できる場や機会を意図的に仕掛け、生徒が存在感や達成感を実感できるように生徒の活動を励まし、称賛していきたい。</p> <p>○「学校行事の充実」は88%、「各種委員会の活性化」は90%の生徒が、「そう思う」「ややそう思う」と答えている。体育大会や合唱コンクールなどで生徒が実行委員やリーダーに積極的に立候補し、取り組むことで、充実した行事になっている。生徒会が中心となって積極的に活動に取り組める機会と時間を保証していきたい。</p> <p>○「部活動は活発でいきいきと活動しているか」では、87%の生徒が「そう思う」「ややそう思う」と答えている。人間としての成長や部活動内での人間関係の醸成を目指して部活動集会やキャプテン会、顧問会を行った。生徒が自分自身が得意とする分野で精いっぱい力を発揮できるようにさらに指導に取り組みたい。</p> <p>○保護者による学校生活に関するアンケートで、「清掃が行き届き、整理整頓されている」が98%と高い結果になっている。「無音清掃」の徹底に教師と生徒とともに取り組み、自分たちの手で美しい環境づくりに努めようとする意識を養っていきたい。</p>
	生徒会活動の工夫・改善・充実に努める。	○ 生徒による学校生活に関するアンケートにおいて、「学校行事の充実」や「各種委員会の活性化」が85%以上である。	○ 生徒が参画する学校行事や専門委員会の工夫・改善 ○ ボランティア活動等の工夫・改善			
	人づくりを目指した部活動の充実を図る。	○ 生徒による学校生活に関するアンケートにおいて、「部活動は活発でいきいきと活動しているか」が90%以上である。	○ 部活動集会やキャプテン会の開催 ○ ルールやマナーの遵守 ○ 信頼関係の構築			
	「無音清掃」の徹底と美しい潤いのある教育環境づくりに努める。	○ 保護者による学校評価アンケートにおいて、「清掃が行き届き、整理整頓されている」が95%以上である。	○ 清掃の共働体制 ○ 学級設営の充実 ○ 生徒作品の掲示・展示			

評定	学校関係者評価コメント
4.1	<p>○時々学校に行くが、清掃が行き届いていて気持ちよく思う。</p> <p>○全体的に目標が高いので、全てにおいて素晴らしい結果だと思う。</p> <p>○学校行事は、本当にみんなが一丸となって頑張っている姿が見られた。特に1年より2年、2年より3年と成長していく過程が見られて素晴らしかった。</p> <p>○清掃もよく行き届いていると思う。また壁などに生徒たちの努力の結晶である作品が飾ってあり、いつも楽しみにしている。</p> <p>○生徒の自主的な活動は加納中の伝統である。これからも引き続き、メインテーマとして受け継いでほしいものである。</p> <p>○部活動については、創立16年目にして優れた指導者がいなくなっても先輩から後輩に受け継がれていくような高いレベルをキープできる体制が望まれる。</p> <p>○学校はいつもきれいである。生徒の心が荒れないためにも環境が美しいことが大切である。</p> <p>○学校行事の充実は、体育大会・合唱コンクールから生徒一人一人の参加や積極的な取り組み方から生徒の達成感やチームワークが感じられる。</p> <p>○体育大会はよくまとまっていた。</p>

【自己評価書】

4段階評価

5 期待以上

4 ほぼ期待どおり

2 やや期待を下回る

1 改善を要する

【学校関係者評価書】

No.3

評価項目	評価指標	具体的数値目標	方策・手立て	自己評定		結果の考察・分析及び改善策
				指導別	総合	
豊かな心を育む教育活動の推進	道徳の時間の題材や指導方法等の工夫に努める。	○ 道徳の時間を100%実施するとともに、道徳的実践力を身に付けさせる。	○ 生徒の心に迫る授業の展開 ○ 学年間の共通認識 ○ 資料の共有化	3.3	3.4	○ 道徳の時間は100%実施できた。題材や指導法の工夫や生徒の心に迫る授業の展開についての職員研修を行った。道徳の時間を充実させ、道徳的心情を醸成するとともに、道徳的実践力を日々の生活の中で培っていききたい。 ○ 体力向上プランに基づいて体育の授業で取り組んでいる。昼休みに元気に運動する生徒は増えつつある。昼休みの外遊びをさらに促したい。74%の生徒が運動系の活動をしている。 ○ 保護者による学校評価アンケートの「生徒一人一人を大切に、認めている」で、「そう思う」「ややそう思う」と81%の保護者が答えている。昨年度からすると7%減少している。「加納中の先生は、生徒や保護者からの相談に応じているか」で、89%の保護者が、「そう思う」「ややそう思う」と答えている。生徒は「加納中の先生は、気軽の相談に応じているか」で、「そう思う」「ややそう思う」と80%が答えている。教師の生徒への声掛けやチャンス相談など日常的な取組に力を入れる必要がある。 ○ 保護者による学校評価アンケートで、「生徒の安全や事故防止に配慮している」で、93%の保護者が、「そう思う」「ややそう思う」と答えている。下校時の反射たすきの着用や部活動終了時に校門での下校指導を行うなど、生徒の安全や事故防止に取り組んでいる。危険回避能力を向上させ、いつでも自分の命は自分で守る生徒の育成に努めていききたい。
	健康な生活に資する体位・体力の向上に努める。	・体力向上プランを実践し、前年度の各種目の平均値を上回る。	・体力向上プランによる実践活動 ・昼休みの運動の奨励 ・体育学習の充実	3.4		
	人権教育の充実を図るとともに、人権感覚の高揚に努める。	○ 保護者による学校評価アンケートにおいて、「生徒一人一人を大切に、認めている」が90%以上である。	○ ソーシャル・スキル・トレーニングの導入 ○ 委員会活動の充実 ○ 情報モラルやメディア教育等の充実	3.3		
	命の尊厳や思いやりの心を育てる活動を充実する。	○ 保護者による学校評価アンケートにおいて、「生徒の安全や事故防止に配慮している」が90%以上である。	○ 避難訓練の充実 ○ 危機回避能力の向上 ○ 教育相談の充実	3.7		

評定	学校関係者評価コメント
	○ 道徳の時間は100%実施できた。題材や指導法の工夫や生徒の心に迫る授業の展開についての職員研修を行った。道徳の時間を充実させ、道徳的心情を醸成するとともに、道徳的実践力を日々の生活の中で培っていききたい。 ○ 体力向上プランに基づいて体育の授業で取り組んでいる。昼休みに元気に運動する生徒は増えつつある。昼休みの外遊びをさらに促したい。74%の生徒が運動系の活動をしている。 ○ 保護者による学校評価アンケートの「生徒一人一人を大切に、認めている」で、「そう思う」「ややそう思う」と81%の保護者が答えている。昨年度からすると7%減少している。「加納中の先生は、生徒や保護者からの相談に応じているか」で、89%の保護者が、「そう思う」「ややそう思う」と答えている。生徒は、「加納中の先生は、気軽の相談に応じているか」で、「そう思う」「ややそう思う」と80%が答えている。教師の生徒への声掛けやチャンス相談など日常的な取組に力を入れる必要がある。 ○ 保護者による学校評価アンケートで、「生徒の安全や事故防止に配慮している」で、93%の保護者が、「そう思う」「ややそう思う」と答えている。下校時の反射たすきの着用や部活動終了時に校門での下校指導を行うなど、生徒の安全や事故防止に取り組んでいる。危険回避能力を向上させ、いつでも自分の命は自分で守る生徒の育成に努めていききたい。

【自己評価書】

4段階評価

5 期待以上

4 ほぼ期待どおり

2 やや期待を下回る

1改善を要する

【学校関係者評価書】

No.4

評価項目	評価指標	具体的数値目標	方策・手立て	自己評定		結果の考察・分析及び改善策
				指標別	総合	
家庭・地域から信頼される学校づくりの推進	保護者や地域等への情報発信に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校便り、学年・学級通信等を定期的に発行する。</li> <li>○ HPを定期的に更新する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 魅力ある学級学年・学校だより・HPの工夫</li> <li>○ 迅速かつ的確な対応</li> </ul>	3.8	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校便りや学年・学級通信は、定期的に発行されていた。ホームページの更新が滞っているので、宮崎市情報センターの情報アドバイザーの協力を得て、研修を行い、全職員でホームページの作成に取り組みたい。生徒の生き生きとした活動や学校の取組をホームページで広く情報発信していきたい。</li> <li>○ 地域で生徒を見守っていただくことの大切さ認識し、地域との連携を深めることは重要と考えている。民生委員・児童委員、主任児童委員、保護司を交えての会を全職員出席して行っている。地区懇談会には区長にも出席していただいた。地域での生徒の様子や危険個所の情報提供などあり、有意義である。</li> <li>○ 家庭科の授業に食生活改善委員の方や婦人会の方が参加し、生徒の活動を見守っていただいた。生徒と地域の方のつながりを深めることができた。</li> <li>○ かのう in フェスタの会場が今年度は本校だったので、3年生がフリーマーケットや豚汁、お菓子の販売などで参加した。会場のテントの組み立てや設置を1・2年生の部活動生が行った。</li> <li>○ 学校関係者評価委員の方には、行事のたびに学校に来ていただき、生徒の様子を見ていただいている。学校評価を年度末に保護者・地域に開示し、学校運営の改善に努めていきたい。</li> <li>○ 加納小学校と合同研修会をもち、相互に授業参観と授業研究会を行った。児童生徒の情報交換会を行い、一貫教育の推進を図っている。</li> </ul>
	関係諸機関との連携を図り、協力体制の確立に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会合への参加、協議会の実施を推進する。</li> <li>○ かのう in フェスタへの職員・生徒の積極的な参加を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 加納地域まちづくり協議会、青少年育成協議会、民生委員・児童委員協議会等との連携</li> </ul>	3.7		
	学校関係者評価を活用し、学校運営の改善に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年度末に自己評価及び学校関係者評価を実施し、保護者・地域の方々への公表を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 評価項目やアンケート等の工夫・改善</li> <li>○ 意見交換会の実施</li> <li>○ 評価結果の公表</li> </ul>	3.8		
	加納小と連携し、9か年を見通した一貫指導に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小中一貫教育に係る研究公開に向けて、教育活動を充実させながら児童生徒の豊かな心の育成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 合同研修会や研究授業の充実</li> <li>○ 研究公開への対応</li> </ul>	3.8		

評定	学校関係者評価コメント
4.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校からの通信やプリントを家の人に渡していない生徒が多いが、学校の情報がきちんと保護者や地域の方に伝わっているのだろうか。</li> <li>○ あいさつの指導は、小学校までに身につけさせてほしい。</li> <li>○ 行事は、学校の様子がわかるので、なるべく出席したい。</li> <li>○ 学校だよりや学級通信、学年通信は毎回楽しく見ている。</li> <li>○ 民生委員・児童委員、主任児童委員、保護司を交えての会に出席し不登校生の状況や学校の様子を聞いた。その時点では特に問題はないように思えた。しかし、今後小中学校とも案ずるような状況になる可能性もある。情報交換が必要である。</li> <li>○ 学校便りは唯一学校の教育活動を知ることができるので良い。</li> <li>○ かのう in フェスタは中学生の力がとても大きかった。今年度は今までで一番盛り上がったように感じた。核家族化する現代において地域と一体になって子どもたちを見守っていく必要性を感じた。</li> <li>○ かのう in フェスタでは、中学生ならではの活躍をしてとても気持ちがよかった。地域の方々にもそんな中学生に好感度アップだった。</li> </ul>

【自己評価書】

次年度の方向性についての校長所見

- 学力向上については、キャリア教育の充実、実践に努めていきたい。生徒個人々のニーズも多様である。自分の将来像を見据えて中学3年間で基礎学力をしっかり身に付けていかせたい。また、学力不振の生徒への対応を全職員で行う体制づくりが必要である。
- 品格と活気のある学校をめざして、生徒の自主的主体的な活動の充実を図りたい。生徒会活動や部活動の在り方に教師から仕掛けを入れるなど工夫を重ねていきたい。
- 道徳教育を含めた心の教育を充実させたい。人間関係の醸成を図るためのソーシャルスキルトレーニング等を全校あげて取り組む必要がある。
- 学校からの情報発信に努めたい。生徒の頑張りをアピールしたり、活気ある学校生活を発信することで、生徒に自信をつけさせたい。合わせて、保護者・地区の声を受け入れて教育に生かし、地域に開かれた学校をめざしたい。

【学校関係者評価書】

1 本年度の取組について

- アンケート結果として昨年度を下回ったところもあったが、全体的に高いレベルであり、生徒も先生方もよく頑張っている。子どもたちは、加納中生であることを誇りにできる学校である。
- とにかく先生方は、忙しいだろう。先生方の目が行き届いた結果だとらえている。地域の私達に要望があればいい。
- 校長所見にもあるように学力不振の生徒への対応を早めにしてほしい。

2 次年度への改善に向けて

- 校長が上げている方向性にそって、一つ一つ積み上げていけば、素晴らしいと思う。
- 生徒数の増加が見られるようであれば、さらにその対策をお願いしたい。何か問題の徴候が見られれば、連携も取りたい。
- 加納中は、優秀な中学校なのだが、学力不振の生徒を含めてより良い授業体制をお願いしたい。学力ばかりではなく、心も温かくなるような褒めることもお願いしたい。